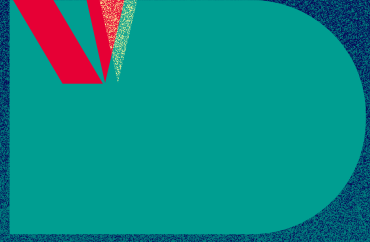
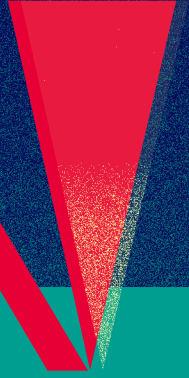
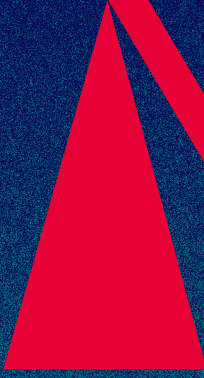
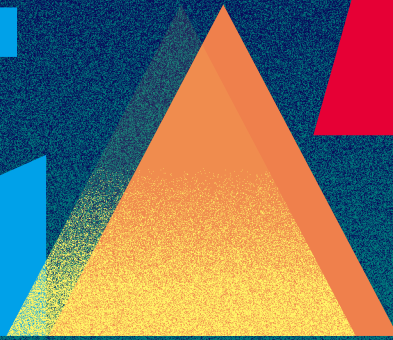
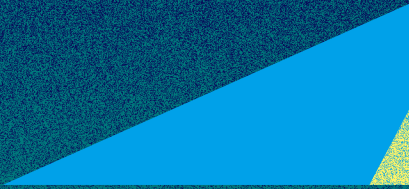


TURN LAND

プログラム 2025



about FURN LAND



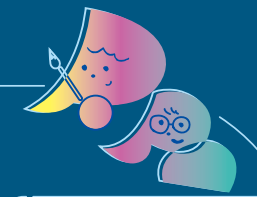
東京東浅草の家でのプロジェクトの様子

「ちがい」が魅力に変わる、
新しい日常を。

アートプログラム開発を通じた共生のための土壌づくり。



福祉職員/利用者



アーティスト



協力者/協力施設・団体



事務局 (一般社団法人 谷中のおかって)

共創

アーティストが福祉施設などの現場に入り、
そこにいる人々と共に「新しい日常」を耕していく活動です。
福祉職員や様々な障害のある方、その家族や支援者、施設がある地域の人、
このプロジェクトに協力してくれる地域外の人など、
多様な人々との交流を重ねながら、
その場の特性を活かしたアートプログラムを開発します。
その過程で一人一人の「ちがい」を魅力と捉え、
個性を引き出し受け止め合いながら「あそび」をつくります。

about the PROGRAM

プログラム 実践 × ネットワーク 醸成

プログラム実践

TURN LAND
(継続を視野に運営体制づくり)

プレLAND
(まずは体験1)

ネットワーク醸成

TURN LAND ミーティング
(関係者が集う学び合いの場)

TURN LAND ミーティング+
(一般参加できる交流の場)

1年を通して、
つながり、
学び合う時間を。



本事業では、アートプロジェクトを体験する機会と、
そこで得られた気づきを分かち合う場を設けています。
各施設でプロジェクトを展開する仲間同士が情報共有し、
互いの取り組みを高め合う場として、本事業の関係者が
集う「TURN LANDミーティング」と、
このプロジェクトに関心を持つ一般の方が参加できる
「TURN LANDミーティング+ (プラス)」を実施しています。



わからなくても、初めてでも大丈夫。
なんでも相談できる仲間が伴走支援。

東京都、アートカウンシル東京、一般社団法人谷中のおかってが共催し、
それぞれの現場を丁寧にサポートします。
運営の形やボランティアの方々の関わり方は、施設の規模やプロジェクトの内容によって異なるので、
柔軟に考えます。決まった型に当てはめるのではなく、活動が続くように、
その場所に一番ふさわしい体制になるよう、みんなで連携しながら少しずつ整えていきます。

共催

東京都・
アートカウンシル東京

事業設計

一般社団法人谷中のおかって

事業運営

サポート

福祉事業所・施設・団体

コーディネーター・
協力者

アーティスト

プロジェクトメンバー

出会い、響き合い、 新たな習慣を生む。

1年の始まりは、
互いの「当たり前」を解体し、風景や関心を分かち合う「出会い」から。
アーティストの独創性と福祉現場の専門性を掛け合わせ、
アイデアを小さく試しながら、施設の日常に馴染む形へ磨き上げます。
大切にするのは「振り返り」の時間。対話を通じて
誰もが自分らしく過ごせる場を整え、特別なイベントで終わらない
「新しい習慣」として、未来へ続く確かな歩みにつなげます。

1年の流れ

6月～12月

- ① 顔合わせ (1~2回)
- ② 企画構想 (1~2回)
- ③ テスト実施 (1~3回)
- ④ 本番実施 (1~3回)
- ⑤ 振り返り (1~2回)

1月～3月

◎記録動画や記録冊子づくり

プログラム開発のステップ：専門性の掛け合わせ



▲アーティストの拠点を施設職員が訪問

1 自己紹介と風景のシェア

アーティストや福祉現場の人々が、
相互の活動紹介を通じて互いの「当たり前」と出会う。
普段見ている風景や関心を共有する。



▶アーティストが施設利用者の送迎に同行

2

試行錯誤と調整

アイデアを小さく試しながら、
施設規模や組織の日常、集う人々の特性が活きる
よう微調整を繰り返す。



3 日常での実装

特別なイベントで終わらず、
その施設の「新しい習慣」として継続できる形を探る。



POINT

運営のポイント

大切にしている5つのこと



「役割」を超えて、 一人の人間として出会う

TURN LANDプログラムに関わる一人一人が、支援する・されるという立場を横に置き、対等な「仲間」として出会います。肩書きを超え、個々の感覚を分かち合い、互いに知見を共有し、双方向に影響を与え合うことで、深い信頼関係を育てていきます。



「心地よい違和感」を愛で、 新たな言葉を紡ぐ

福祉とアートが出会うことで生まれる、心動がされる「心地よい違和感」を、共に感じることを目指します。違和感や変化を丁寧に言葉に紡ぎ、共有し合うことで、アート活動が一人一人に根ざし、それぞれの拠点や地域でまたあらたな活動が生まれていくための素地をつくります。



言葉になる前から協働し、 新しい扉を開く

アーティストの「言葉にできない予感」を信じて、まずは共に動いてみる。生じるズレを対話で乗り越え、試行錯誤を繰り返します。理屈よりも先に動き、共に迷うプロセスの中でこそ、見過ごされていた個性や魅力が発揮され、新たな世界が広がります。



専門性との出会いにより表現が 響き合うプロセスをデザインする

参加者一人一人の表現がプロフェッショナルな視点や技術と掛け合わされる時、その表現はときに、周囲に変化をもたらす力強さを獲得します。一人一人の表現を受け止め合い、表現が変化を生む過程を大切にします。そうした環境づくりにより、日常のなかにさまざまな変化をもたらします。



「異なる価値観が共存する場」を見守る

意見が一致しなくても、互いの振る舞いを尊重し、共存できる場を育みます。仲間と共に歩む姿勢で、さまざまな関わりしろをつくりだします。そうした場づくりを通して、活動を無理なく持続させ、新たな息吹を呼び込む豊かな土壌を形づくっていきます。

ACTIVITY RECORD



参画施設 西荻ふれあいの家

(高齢者在宅サービスセンター)

並べ替えるだけで曲ができる「カード」と間違えてもいいアートな「編み物」。記憶より感触を信じて。



参画施設 さくらんぼ

(心身障害者の自立助長支援施設)

素顔より饒舌な「NEW面」にギャップ萌え!場所が変わっても変わらない居場所作りのヒントがここにある。



参画施設 フェイト

(小・中・高校生を対象とした放課後等デイサービス)

宇宙人たちの行き交うダンス・フロア「オーロラ・フロア」とは? グルーヴ感が心を通わせ仲間が増える奇跡。



参画施設 浅草みらいど

(グループホーム、就労継続支援、生活介護がある複合障害者施設)

ドラッグ姿の楽焼屋台と思いに過ごす家族。個性が溶け合い、地域も家族も混ざり合う。



参画施設 東京東浅草の家

(認知症対応型共同生活介護施設)

動きや間合いでコミュニケーションをとりながら、みんなで力を合わせて立ち上げる「お手舞い」を踊る喜び。



参画施設 翔和学園

(発達障害等の若者への教育と福祉サービス)

個性が音に化ける「音楽つくりやさん」は自分のペースで集える。即興セッションが仲間との絆を深めていく。



参画施設 はなまるホーム浅草北

(認知症対応型共同生活介護施設)

施設に集う人々と対話を重ね、個性を引き出しながら施設の日常を特別な社交場に変える「はなまる社交界」。

公式サイトには他にも沢山の実験的な実践を掲載しています!

39の事例に詰まった試行錯誤の軌跡をぜひご覧ください。

© TURN LAND プログラム ウェブサイト <https://turn-land-program.com/>



COMMENT

アーティストと戯れる、コーディネートされた贅沢な時間



TURN LAND プログラム
ウェブサイト

<https://turn-land-program.com/>

アーティストといえば、古くは孤高の天才。

最近はそんな思い込みが「ギャップ萌え」に変わる。

狂騒ではなく、自由な共創の場を持ち込むしなやかな担い手なのだ。

TURN LAND プログラムは、自由だけど奔放すぎないこと。難しくない、でも、簡単でもない。

けれど、やってみたら豊かなことを大切に。主役はアーティストではなく、

利用者さんや支援者の皆さんだから。「鑑賞」という受動的な立場を忘れ、自由奔放に思いや気持ち、

考えたことを表出する。知らなかったこと、初めての出会いを楽しむ。

クリエイティブな時間を謳歌する参加者となる。そして正解も間違いもない時間を分かち合う。

うまく言葉にできない体験だからこそ、その体験が消費されない余韻として残る。そんな贅沢な時間をつくり出す。

やはりアーティストは豊かな体験をつくる人なのだ。

作業やふるまいによる対話。

やりとりの応答から体感する「自分がそこに存在する」という確証的な感覚。

日常の規範から少しだけ逸脱し、逃走し、脱線していてもいい我儘（わがまま）な感覚の自由を楽しむ。

それが可能になるのは、アートの自由を心得たアーティストがもたらす、現場の抱擁力があるからだ。

余白を持ち込むプログラムとして、安心してアーティストに託せるのは、

マッチングのコーディネートとその伴走に信頼があるからに他ならない。

TURN LAND プログラム ディレクター 森 司 (アーツカウンシル東京)



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT



ARTS COUNCIL TOKYO

